

今、卒業証書を受け取られ、今も私のスピーチを一人で受け止めている。

たった一人で臨む卒業式は決して居心地の良いものではないでしょう。しかし、この様な状況であっても、保護者の方をはじめ、多くの先生から祝福を受ける卒業式はまさにオンリーワンの卒業式だと思います。

改めまして、ご卒業おめでとうございます。

あなたは、自分の目標のため、本校に転学するという道を選び、今日の卒業式を迎えられました。きっと、その過程には、私たちには想像できないような、悩みや不安があったに違いありません。しかしあなたはそれらを乗り越え、今日という晴れの日を迎えられました。本当に価値のある卒業です。

そしてこの卒業は同時に自分の将来への夢や希望に向かって、自覚と決意を新たに、人生を歩むための大事なスタートでもあります。

そんな、旅立ちを目の前にするあなたに、これから磨いていってほしい力についてお話しします。その力とは「共感する力」です。

今の世の中は、絶えず変化し続け、さらに昨今の AI の発達により、学び方や働き方も変化し続けています。また毎年のように異常気象や、災害が頻発しており、地球温暖化と自然災害は一向に歯止めが効きません。

そして少子高齢化も年々進行し、それに伴い、海外から多くの方々が来日しています。

これからあなたが生きていく社会は人種、国籍、性別、文化といった、異なる

る価値観が入りまじる、「多様性」の中で生きていくことになります。皆が同じ、皆が一緒ではなく、違うことが当たり前、それぞれが異なる価値観を持つのが当たり前な世界です。そして、この違いをお互いに受け入れながら、新たな価値を作り出していく世の中です。

これまでは既存のルールに従ってさえいればよかったかもしれませんが、これからは、決められたルールに対し、周囲がそうしているから、これまでがそうだったからという理由だけで、何も疑わずに従うことは逆にリスクを背負うことにもなりえます。

そのような多様性に溢れる世界を生きる上で、大切になる力の一つが先ほどお伝えした、「共感する力」です。

相手が何を感じているのかを理解し、相手に対して自分はどうありたいのか、どうなりたいのか、どうしたいのかを、自分で判断し、行動を決めていく力です。

ルールだから自分の行動が決まるのではなく、自分の判断で決めたものが、行動になるのです。どうしたら他者のために力になれるのか、どうしたら社会に対して役に立てるのか、どうしたら誰かの困りごとを解決できるようになるのかを判断できる尺度を持ってください。

人間は本来自己中心的でありながらも共感する力は持っています。しかし自分の利己的な性質を強調するあまり、共感する力を見失いがちです。だからこ

そ、これからをよりよく生きていくために「共感する力」を磨いていってほしいのです。

これから、あなたが選んだ道を進めば、色々なことがあるでしょう。予想を超えて良いことが起こることもあるでしょうし、思い通りにならないこともあるでしょう。悩んだり迷ったりするかもしれません。ただ、どんなときも自分をなくさないでください。

あなたの人生はあなたのものです。

だから、自分の選択が正しかったと思えるように、何事にも全力で取り組んでください。自分が選んだ道を「正解」にできるのは自分だけです。

最後になりますが、保護者の方には本校の教育活動に対し、ご理解ならびにご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

あなたの限りない前途を祝し輝く未来における活躍を心より祈念し、式辞といたします。

令和六年十月七日

大阪府立寝屋川高等学校

准校長 服部 有晋